



きずな

札幌市サッカースポーツ少年団 室内サッカー大会 4年の部

札幌ジュニア優勝おめでとう！！

札幌少年団連盟主催大会の締めくくりは室内サッカー大会。4年生の部は、各予選を勝ち抜いた32チームがトーナメント戦を繰り広げました。準決勝、決勝の様子をレポートします。

決勝戦		
2月4日(日)新陵東小学校体育館		
札幌ジュニア		平岡南
3	0-2 1-0 2-0	2

1 ピリ平岡南のキックオフで試合開始。開始早々札幌ジュニア 10 番が積極的に攻め、立て続けにシュートを放つもGKの好セーブに阻まれる。対して平岡南は開始 1 分カウンターから 7 番左足のシュートがゴール右隅にきれいに決まって先制。そのわずか 1 分後、細かいパスワークから最後は 10 番のシュートが決まり平岡南が 2-0 と優位に試合を進める。5 分平岡南は DF の背後を突かれ、札幌ジュニア 7 番

とGKの間に絶好のスルーパスが出るも、GKの冷静な対処で得点にはつながらず。

メンバーが入れ替わった 2 ピリ、激しくボールを奪い合うも均衡した試合展開が続く。平岡南は 4 番と 17 番のパス交換によりビルドアップ。4 分には平岡南CKから 9 番の選手のアクロバティックなシュートがクロスバーをたたくが追加点にはならず。このまま終了かと思われたが、札幌ジュニア 15 番がゴール前でディフェンスに挟まれながらも、後方からのパスをターンしながらの絶妙なトラップで前を向き、落ち着いてゴールに流し込み 1 点を返す。終了 2 秒前だった・・・。



3 ピリ、流れをつかんだ札幌ジュニア、1 分にはまたしても 15 番、今度は味方からのパスをスライディングしながらダイレクトに決め同点に追いつく。こうなると追いついた札幌ジュニアの勢いが増し、ついには 6 分 15 番のハットトリックとなる振り向きざまの逆転ゴールにつながる。札幌ジュニアの攻撃陣 2 名は、ゲーム終盤でも相手コートでのプレスのスピードが落ちない。平岡南は 3 番と 10 番のダイレクトプレーでジュニアゴールに襲い掛かるがどうしてもあと 1 本が出ない。試合終了直前、札幌ジュニアゴール前で絶好のFKもGKの好セーブに阻まれ、そのままゲームセットになる。札幌ジュニアは 1 ピリの 2 失点から 3-2 の逆転で優勝を飾った。



準決勝第1試合		
2月4日(日)新陵東小学校体育館		
LIV. FOOTBALL CLUB	札幌ジュニア	
1	1-1 0-1 0-0	2

LIVのキックオフで1ピリスタート。開始早々LIV26番から11番へのセカンドポストを狙うがわずかに届かず。両チームとも中盤でのプレスが厳しく、ボールを奪ってから攻撃への展開も早い。3分札幌ジュニア9番が相手ゴール前の混戦からGKの股下を抜くシュートで先制。LIVもあせらず49番・26番のキープ力のある選手が個人技で崩しにかかるが、札幌ジュニアキャプテン14番を中心に堅い守りで対抗。6分LIV11番のアウトサイドでの技ありループシュートで追いつき1ピリを終える。



2ピリ2分に札幌ジュニア2番のミドルシュートが、LIVのDFに当たりコースが変わってゴールイン。LIVはダイレクトパスをつないでビルドアップし、札幌ジュニアゴールを再三おびやかすも得点には至らず。

3ピリは札幌ジュニアのキックオフでスタート。開始5秒札幌ジュニア14番の20m近いロングシュートがLIVゴールを襲うが、わずかにクロスバーの上。札幌ジュニアはアタッキングサードからのキックインには、12番の長身選手の頭に合わせる攻撃を繰り返す。焦りの色が出てきたLIVは、手数を掛けず早めのフィニッシュが多くなる。6分LIV12番から11番へのセカンドポストもわずかに届かず、6分30秒ゴール前でのFKも札幌ジュニアDFに阻まれ、あと1本が出ずに2-1で札幌ジュニアが決勝戦にコマを進める。

準決勝第2試合		
2月4日(日)新陵東小学校体育館		
平岡南	SSS	
5	0-2 1-1 4-0	3



1ピリは平岡南のキックオフで試合が始まる。SSSがボールを保持しながらゲームを優位に進める時間が続く。2分SSS7番が中央でボールを受け、そのままシュートが決まり先制点。平岡南も3番を起点に攻めるがなかなかゴールに結びつかず。5分SSS9番が中央をドリブルで突破し追加点をあげる

2ピリもSSSペースでゲームが進む。4分SSS5番が厳しいディフェンスを受け、倒れながらのシュートが決まり3点目。5分平岡南キックオフのボールを最終ラインのDFが自陣からの超ロングシュートで1点を返す。

3ピリ、1分平岡南3番が左足を振りぬきシュート2点目を返す。勢いついた平岡南3分には7番が左足一閃、ゴール右スミにシュートを突き刺し試合を振り出しに戻す。平岡南はSSSの猛攻を一人一人が体を張ったディフェンスでゴールを割らせない。6分平岡南7番のシュートをGKがはじき、こぼれ球を10番が押し込み逆転に成功。続けざまに平岡南3番がドリブル突破からのシュートで5点目。そのまま終了のホイッスル0-3から5-3の大逆転で平岡南が決勝戦進出。